



平成 19 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 キヤノン株式会社
代表者名 代表取締役会長 御手洗 富士夫
コード番号 7751
上場取引所 東京、大阪、名古屋（以上第一部）
福岡、札幌
問合せ先 専務取締役経理本部長
田中 稔三
(TEL . 03 - 3758 - 2111)

会 社 名 キヤノン電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 酒巻 久
コード番号 7739
上場取引所 東証第一部
問合せ先 専務取締役管理本部長
大森 良哉
(TEL . 0494 - 23 - 3111)

子会社（イーシステム株式会社）の通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、キヤノン株式会社とその子会社であるキヤノン電子株式会社は、キヤノン電子株式会社の子会社であるイーシステム株式会社が昨年 8 月 25 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の業績予想を、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、キヤノン電子株式会社によるイーシステム株式会社のみなし取得日は、平成 18 年 12 月 31 日であることから、今回の業績予想の修正が、平成 18 年 12 月期のキヤノン株式会社およびキヤノン電子株式会社の連結損益に与える影響はありません。

以上

【別添資料】

平成 19 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 イ ー シ ス テ ム 株 式 会 社
(コード番号： 4322)
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 渡 辺 博 文
問 合 せ 先 取 締 役 大 西 浩 之
(TEL . 03-3516-9259)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等に踏まえ、平成 18 年 8 月 25 日に発表した通期の連結業績予想並びに単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 18 年 12 月期決算 連結業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,000	200	450
今 回 修 正 予 想 (B)	3,185	1,076	2,801
増 減 額 (B - A)	1,815	1,276	3,251
増 減 率 (%)	36.3%	-	-
前期実績 (平成 17 年 12 月期決算)	4,318	451	2,273

2. 単体業績予想数値の修正

平成 18 年 12 月期決算 単体業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	100	400
今 回 修 正 予 想 (B)	2,016	736	2,307
増 減 額 (B - A)	1,984	836	2,707
増 減 率 (%)	49.6	-	-
前期実績 (平成 17 年 12 月期決算)	3,198	551	2,491

3. 修正の理由

当社の主力事業分野であるCRM市場では、一昨年来のCRMソフトウェア業界再編による影響が一段落してきたことを背景に、顧客の混乱も沈静化しつつあり、10月以降は当社のCRM導入コンサルタントの稼働状況はほぼフル稼働の水準となっております。しかし一方で、

ソフトウェアライセンスの販売が、いまだ低調に推移していること。

第4四半期から進行している大企業向けCRM案件において、売上計上が見込まれていた約6億円のソフトウェアライセンス販売に関して計上が翌期にずれ込む見通しとなったこと。

および の結果、当社が保有ソフトウェア使用許諾権に関する評価減を実施したことを主因として、2,276百万円の特別損失を計上すること。

以上の結果、当期売上（単体）は2,016百万円、当期損失（単体）は2,307百万円となる見込みです。

また、連結ベースでも、単体業績の影響が大きく、売上高及び利益が大幅に減少する結果となりました。以上の結果、当期売上（連結）は3,185百万円、当期損失（連結）は2,801百万円となる見込みです。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上